

# JELA NEWS

ジェラニュース 第27号 2012年4月15日発行 発行責任者 森川 博己

日本福音ルーテル社団 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 Tel.03-3447-1521 Fax.03-3447-1523 jela@jela.or.jp www.jela.or.jp 口座番号 00140-0-669206 加入者名 日本福音ルーテル社団

難民支援/アジア子ども支援/ブラジル子ども支援/ボランティア派遣/リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座/奨学金制度/宣教師支援

## 私たちは、キリストの愛をもって、日本と世界の助けを必要とする人びとに仕えます

「お前たちは、わたしが飢えているときに食べさせ、のどが乾いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ、はっきり言って、私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである。」 マタイによる福音書 25章35節～36節、40節



### クッキー子ども支援に感謝のことばが届きました!

東北の被災地の子どもたちとご家族や、子どもたちが通っている保育園・幼稚園の先生方を励まそうと、クッキーと絵入りメッセージを渡す活動をこの3月まで行いました。3頁に宮城県亘理郡山元町の園での聞き取りや、これまでに頂いた感謝の言葉を掲載しましたので、ご覧ください。

- [この号にはこんな記事が]**
- <東日本大震災被災者支援活動> 高校生の学業継続支援(ありがとうございます・佐藤智恵) ……2
  - クッキー子ども支援(宮城県山元町ふじ幼稚園など) ……3
  - 暗闇に光を、絶望に希望を(キャロル・サク+岩手県釜石市の小学生) ……4
  - <その他> リラ・プレカリア(祈りのたて琴)セミナーへの反響(お茶の水女子大学附属中学+秋草学園福祉教育専門学校) ……6
  - ディズニーランドを楽しむ難民の子女 ……7
  - お知らせ:世界の子供支援チャリティコンサート/支援者一覧/編集後記 ……8



JELA は東日本大震災被災者支援活動の二つの柱として、高校生の学業継続支援とクッキー子ども支援を行っています。以下に、二つの活動の最近のようす、支援を受けた方々からの便り等をご紹介します。

●高校生の学業継続支援

放射線被害をさけるため熊本のルーテル学院高等学校に転校した福島県出身の高校 1 年生（本人は日本生まれ、親はルワンダ出身）と、昨年 3 月 11 日の大津波で家や持ち物すべてなくした仙台の高校生 3 名の合計 4 人について、高校を卒業できるように学費その他を支援しています。皆様のお祈りとご寄付を感謝いたします。

震災後一年となるこの時期に、いち早く米国から支援金を送ってくださった教会や元日本宣教師の先生方に直接会って感謝の気持ちを伝えるために、仙台の高校生 3 名を米国ミネソタ州に派遣することにしました。三人とも海外旅行は初めてで、訪問を大変楽しみにしています。期間は 3 月下旬の 10 日間で、その様子は将来のジェラニュースでとりあげるつもりですが、以下に、日本からの訪問団を代表してスピーチをしています。アメリカでは現地の高校生の協力を得て、日本語・英語の両言語で、このスピーチをするつもりです。佐藤さんは希望の大学に合格しました。4 月から歴史学を学び、将来は博物館の学芸員になることを夢見ています。その夢が叶うようにと願います。

ありがとうございます！  
Thank You!

尚綱学院高等学校 3 年（執筆時）  
佐藤 智恵

こんにちは。はじめまして。尚綱学院高等学校から来ました、佐藤智恵と申します。皆様に支援していただいた上に、

こうしてアメリカでお目にかかることを、とてもありがたく思います。感謝申し上げます。

3 月 11 日の震災による津波のために、ここにいる私たち三人は沢山の物を失いました。それは、愛着のある家、財産、大切な人、三人それぞれ異なりますが、あの日は私たちから一瞬にして日常を奪い、大きな傷と絶望だけを残してしまいました。大好きな町の景色は変わり果て、たくさんあった家々はみんな土台だけしか残らず、地面はまるで最初からなにも存在していなかったように、海から運ばれた砂に覆われていました。波にえぐられた道路、目の前にそびえる瓦礫の黒い山。この世の無常を悟り、またあまりの理不尽さに涙があふれました。

震災が起こる前の私は、大学に進学して歴史を学び、それを生かせる仕事がしたいという夢を持って、高校での勉学に励んでいました。ですが、財産を失ったために私は、これ以上教育を受けることは不可能であり、何より進学を考えることは親不孝者ではないだろうか悩み、悲しみにあけられました。実際母にも、「これ以上学校に通わせることはむずかしい、許してほしい」と言われました。私としては、ここまで教育を受けさせてくれたことに感謝すべきであり、両親はなにも悪いことをしていないのに許しを請われることがとても辛かったです。今まで高校で頑張ってきた結果も私には意味の無いものになってしまいました。私は、将来への希望を捨てかけていました。

そんなとき、JELA の方々からの支援の話が舞い込みました。高校を退学せずに済む、そしてなにより再び夢に向かって歩みだせることが本当に嬉しかったし、生きていてよかったと震災後初めて思えました。

皆様に寄付していただいたお金によって、学費や交通費等々、私たちの高校生活における費用を全面的にサポートしていただきました。また、それだけではありません。支援してくださった方々の暖かいお気持ちは、私は勿論、両親に

も希望を与えてくれました。支援が決まり、私が再び学校に通えるようになってから、両親も前に進もうとするようになりました。父は私が大学進学を諦めないよう、遠い地で仕事を頑張ってくるからと言ってくれました。母は私を養うために慣れないはずの新たな仕事に一生懸命に取り組んでくれました。そして私は再び勉学に励むことができ、結果、志望していた大学にも合格することができました。

皆さんの支援は生活の様々な面で私たちに勇気を与え、また深い悲しみをも希望に変えてくれました。私たちが再び歩みだせるようになったのは、皆さんの支援の賜物です。世界中の一人ひとりが東北、そして私たちを見守ってくれているのだと感じました。

東北は少しずつではありますが、復興に向かっていきます。ですがまだまだ皆さんの問題を抱えているということは事実です。福島原発もいまだ悪影響を及ぼし続けています。一被災者という立場で思うことは、これからも東北という地を忘れないでほしい、というただそれだけです。

私たちに手を差し伸べ、新しい未来を紡いでくれたルーテル社団様、寄付金をお寄せくださった皆様、そして東北を思ってください皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にどうもありがとうございました。



●クッキー子ども支援

日本国内の幼稚園・保育園やブラジル、アメリカの 38 施設より計 1,110 通、被災地の子どもたちにむけた絵のメッセージが届きました。これを縮小・データ化して、カナン園シャローム（在・岩手県）が製作しているクッキーに同封し、被災地の幼稚園・保育所を訪問して手渡す活動をこの 3 月まで行いました。震災時の様子を保育士の方から伺ったり、子どもたちとのふれあいを大切にしたいことから、被災地の施設は JELA 職員が自分の足で回りました。

岩手県、宮城県の沿岸地区を中心に 164 施設を訪問し、合計 13,114 個のクッキーをお届けできました。皆様のご支援を感謝しています。

以下では、12 月上旬に訪れた宮城県亘理郡山元町の「ふじ幼稚園」で園の方から伺った話や、これまで訪問した他の施設関係者から届いた感謝のことばの一部をご紹介します。

<ふじ幼稚園での聞き取り内容>

「海から 1.6KM のところに幼稚園があった。防災無線は故障していた。園児 8 名が亡くなった。遺体は全員幼稚園の近くで見つかった。震災当日は 51 人が園に残っていた。地震が起こり、大型バスに 33 人、小型バスに 18 人。津波がきて呑みこまれ、必死でバスの上に登り、津波が引いた後に職員室へ移動した。1 階は浸水した。夜は寒かったし辛かった。当初は、子どもたちの安否確認に必死だった。幼稚園を再開すべきかどうかずっと迷っていたが、保護者が待っていてくれた。

避難所として使われていた区民会館を、避難者が全員仮設住宅へ移動したことから間借りできることとなり、8 月 1 日より開所した。職員も被災し、一人は亡くなった。子どもたちや職員はカウンセリングを受けた。105 名の半数が被災して仮設やアパートに住んでいる。大変なことが起きたが、少しでも子どもたちの将来にとってプラスに、また絆にな

るようにするために、今が大切な時期だと思う。震災前は、町で津波の訓練は一度もなかったが、今回の震災を受け、子どもさんを失ったご家族のことを思い、幼稚園の責任として安全管理・危機管理をしている。月に一度は避難訓練もしている。ユニセフからの支援で新しい幼稚園が建設されることになっている。2013 年までに引っ越し出来ればと思っている。」

園長先生がいくつかお話を聞かせてくださいましたので、ご紹介します。

ひなちゃんちの向日葵

幼稚園の玄関に小さな向日葵を咲かせているプランターがいくつか置いてありますが、それは津波に奪われてしまったひなちゃんのお母さんが娘を想い、8 月になって幼稚園に祈念として届けてくださった種を大事に育てられたものだそうです。園児は登園すると、お日様あたるところにプランターを動かし、霜にあてないように軒下に移して降園しているとのこと。時折、小さく咲いた 12 月の向日葵の花に手をかざして「パワーをもらったよ」と心を通わせている子どもたちの姿に笑顔をもたらしているとおっしゃっていました。



絆

年少の時はいつもケンカばかりしていた年長児。その二人が、鼓笛隊の練習の時に担当しているシンバルのパートを演奏し、息がピッタリだったので褒めてあげようと思い近づいて行った時に、こんな会話が聞こえてきたそうです。A ちゃん 「俺たちの心が一つになったよな！」

B ちゃん 「うん。タンポポ組（年少）の時はケンカばかりしていたのにな。」

いつも一緒

子どもたちと何かをしていた折に、園長先生が「○○ちゃん（津波にさらわれて亡くなった子どもの一人）がお空から見ていてくれるよね」。すると年長児の一人が「ちがうよ、園長先生。○○ちゃん、いつもぼく達といっしょだよ」と笑って言ってくれたそうです。

<クッキーを受け取ってくださった方からのメッセージ>

○岩手県山田町の山田中央保育園の保護者です。先日、息子が保育園からクッキーを貰ってきて、大事にしたのですが、ついに今夜おいしく頂きました！そして同封されていた、つのかわ・あんなちゃん（千葉県・旭ヶ丘保育園）からのお手紙もとっても嬉しく、元気を頂きました。もう少しで今年も終り、新しい一年がスタートしますが、来年こそは笑顔が多い一年にしたいと思ってます。皆様も体に気をつけて、無理をし過ぎないように頑張ってください。支援していただいた方々一人ひとりにお礼の言葉を伝えたいのですがメールで失礼します！

○初めまして。石巻市河北幼稚園に通っている保護者です。今、園から帰って来て、クッキーをもらった！と嬉しそうにみせてくれました。とてもおいしいです！！家族みんなで食べました。たくまくん、絵がとても上手ですね！子供達の笑顔が、元気をくれます！ありがとうございました♪

○初めまして、石巻市にある幼稚園の保護者です！私の親戚等…多数被災しました。本日、娘が保育所から頂いてきた、クッキーをご馳走になりました！すごく美味しかったです。ありがとうございます。



## 被災地でのリラ・プレカリア

岩手県釜石市唐丹町にある中学校から JELA のリラ・プレカリア宛に要望が届きました。近くの小学生も招くので、生徒やその家族のためにハーブと歌を奏してほしいというものです。これに応じて 12 月 13 日に現地に赴いたキャロル・サックさんが次のような報告してくださいました。

## 暗闇に光を、絶望に希望を

キャロル・サック

リラ・プレカリア (祈りのたて琴) ディレクター

## ☆被災生徒に必要なもの

高校の教師を退職された盛岡在住の高館千枝子さんという方は、教え子の子どものためだけでなく、釜石市にある唐丹小学校と中学校（小学校は津波で全壊）に通っている 124 名の生徒たちのために義援金を募るために EEC( 北欧との教育交換団体 <http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/index.html>) から EEC 東日本大震災教育支援プロジェクトを去年立ち上げられました。唐丹中学校の学生はいま、校舎が地震で半壊したため、体育館内の片隅にパーティションで区切った仮の教室で勉強しています。高館さんは、学生にただ義援金を渡すことだけではありません。彼女が支援金と同じように、何か目に見えないニーズがあることを知っていました。

唐丹中学校の校長先生は、様々なエンターテインメントをする団体からの申し入れを、学校としては断り続けてきました。「生徒たちは、一時的な娯楽は必要ありません。エンターテインメントが去ると時々、彼らは自分が置かれた悲しい状況に、より痛みを感じるからです。生徒たちには、静かで泣ける場所が必要なのです」というお考えからです。高館さんと友人の恵美さんは、パ

ストラル・ハーブ (祈りとしてのハーブと歌) を校長先生に説明してくださいました。校長先生は、「生徒たちに必要なものはそれです。12 月 13 日にお待ちしています」と受け入れてくださいました。

## ☆祈りのショール

7 月後半に入り、私たちは 12 月 13 日の打ち合わせをしていました。そこで私はあることを思いつきました。震災後、多くのアメリカの教会から“Prayer Shawls: 祈りのショール”が自宅へ送られてきていて、東北でショールが必要な方々へ渡してほしいと頼まれていました。祈りのショールという活動は、アメリカの教会では盛んに行なわれています。女性が集まりショールを編みます。編んでいる間中そのショールを受け取る人のために祈ります。校長先生に祈りのショールのことをお話すると、生徒に渡すことを了解してくださいました。私は、被災した生徒 124 人、そして教員や職員一人一人に配るショールを、12 月 13 日までに神様が用意してくださいと信じていました。そして 12 月 1 日、200 枚近くのショールが手元に届きました。それはおもにアメリカの教会から、そして日本でこのアイデアを聞いた方々から届けられたものです。

## ☆当日の様子

12 月 13 日当日、私たちは盛岡から 2 時間半かけて沿岸地区へ移動しました。3 月 11 日から完全に変わってしまった風景や建物を目にしました。事前に送っていたハーブ、200 枚の祈りのショール、キャンドルが体育館で私たちを待っていました。そして生徒たちが入場してきて椅子に着席すると、恵美さんが 12 月 13 日の聖ルチア祭の意味、「暗闇に光を、絶望に希望を」について説明しました。彼女は次に、ハーブと歌を聞くように、彼らの心がいま必要としてい

る落ち着いた時を持つように、招きました。静かな時を過ごすように、そして涙を流すことを恥じらわないように、それは痛みを浄化する助けになるから、と話しました。明かりが消され、床に置かれた 50 個のキャンドルに囲まれて私は、30 分ほどハーブと歌を、何にも邪魔されることなく奏でました。

## ☆神聖な瞬間

小学 1 年生から中学 3 年生の生徒たちは静かに聴いていました。誰も一言も話ませんでした。パストラル・ハーブは馴染みのない音楽を奏でます。そうすることで、聴き手は音楽を自由に解釈し、心が必要としている所へ旅をすることができるからです。私は、敬意を込めて、この勇敢な若者たちのために、祈りとしての音楽を自分のベストを尽くして奏でました。20 分を過ぎた頃、音楽を奏でながら生徒たちを見上げました。そして、ボランティアの方々によって肩にかけられた祈りのショールを身にまとうて静かに音楽を聴いている生徒たちを見て、思わず泣きそうになりました。それはとても神聖な瞬間で、私はこの時のことを二度と忘れないでしょう。私の祈りは、この若者たちがハーブと歌や祈りのショール、そしてキャンドルを通して、光とぬくもりとしての希望に覆われた神様の聖霊を体験したであろうということでした。



この催しを体験した生徒の感想の中から、唐丹小学校 6 年生のものをご紹介します。

○ハーブで思ったことは、すごく大きかったことと、大きくてもきれいな音を出すということにびっくりしました。そして音色がきれいでした。歌声も強弱があつてきれいでした。そしてスウェーデンの国の旗にはたくさんのメッセージがあり、アメリカからはショールをもらって、とてもショールが温かくて、気持ちが伝わり、日本だけではなく、世界の人々がぼくたち東北の人の復興を願っていることを教えてもらい、ほっとした気持ち、悲しい気持ち、うれしい気持ちがわきあがり、勇気ができました。本当にありがとうございます。

○スウェーデンの方々に支えてもらっていると初めて知りました。スウェーデンと日本はずいぶんはなれているのに、私達のことを想っていてくれることは、とてもありがたいです。そういう、たくさんの方々に愛を注いでもらっているの、いつかまた会えるなら、「ダーコン (ありがとう)!!」と言って恩返しをしたいです。ハーブの音色はとてもキレイで良かったです。こういうものを「味わいのあ

## リラ・プレカリア公開講座 (2012 年)

- 5月17日 植松功 闇の中で光をうたうーテゼとその音楽
- 7月5日 橋本周子 グレゴリオ聖歌その1～祈りのことばが響く
- 7月12日 橋本周子 グレゴリオ聖歌その2～祈りの歌の真髄に触れる
- 9月13日 大柴譲治 詩編入門
- 10月4日 鈴木茂 詩編23編
- 10月11日 山本雅基 きぼうのいえのターミナルケアと看取り
- 10月18日 矢内義顕 霊的な読書—6世紀の修道院戒律から—
- 10月25日 賀来周一 なぜ、こんなことが私に起こるのですかと問う人へのケア—不条理の問題を考える。
- 11月8日 徳善義和 詩編とルターと音楽と



る美しい音色」というのだと思います。うまく表現できないけれど、楽器の音色は弾く人の思いをうつしていると思います。あの日聴いたハーブの音色からは優しさが伝わりました。今日のことは一生忘れないようにしたいです。

○心がとても落ち着きました。全国各地や世界のみなさんがここまで私たちのことを思ってくださって本当に支えてもらっていると思いました。そして、ハーブの演奏を聞いている時そっと後ろからショールをかけてくれて、とてもほっとしました。そして分かったことがあります。なみだはいやしになることです。本当にきれいな音や声と司会者さんの優しい声でとても優しい気持ちになって、あのことを思い出して泣くところでした。本当にたくさんの支えに感謝したいです。

○世界中のぬくもりと優しさが伝わってきました。特別なものに感じました。世界中の人たちが私たちを応援してくれている、そんな気持ちでいっぱいになりました。私たちにどれだけの人がしえんしてくれているのか、そう思いました。いまでもらった希望をもって未来へ進んで行きたいと思います。

JELA の職員である私も今回の催しに参加して、人と人が繋がり支えあつ

ていくことがどんなに大切なことかを、改めて気づかされました。震災から一年が経ちます。皆さま、どうぞ悲しみや痛みの中にある方々のためにお祈りください。(中島愛)

## カンボジア・ワークキャンプ終了



4 回目となるカンボジア・ワークキャンプは、2 月 14 日から 24 日まで行われ、男女 6 名を派遣しました。今回は、JELC が参加しているメコン・ミッション・フォーラムのメンバー教会、シンガポール・ルーテル教会の協力のもと、コンボンチュナン地区にある村の学校の修繕を中心に奉仕を行いました。参加者はカンボジアの歴史、文化や地元 NGO 団体の活動に触れながら、有意義な 10 日間を過ごす事ができました。詳しい内容は次号をお楽しみに。



## リラ・プレカリア(祈りのたて琴)セミナーへの反響

1月18日に秋草学園福祉教育専門学校(在・埼玉県所沢市)の、将来介護やホスピス関係の仕事にたずさわる2年生の皆さんに、また2月6日には、お茶ノ水女子大学附属中学校の「いのちと向き合う」という総合学習をしている2年生の皆さんにセミナーを行いました。参加者の感想を以下にご紹介します。中学生の新鮮な思い、福祉関係の仕事に就くために専門学校で学ぶ方々のご意見は、講座を運営する私たちにとって大変貴重なものです。写真は、許可をいただいたお茶の水女子大学附属中学校の皆さんのものだけを掲載します。恵比寿のJELAホールでのセミナー時に撮影したものです。



う信念です。死が第一歩であると感じ、悲しいだけではないと思いました。

○「人は愛されているということを感じる必要がある」ことを知りました。またハープと歌を聴いていると、だんだん現実の世界から遠ざかって、自分は今まで何て小さなことで悩んでいたのだろうと思えました。

○横になって聴いていたとき、頭が空になった気分になりました。きっと患者さんたちも同じように頭がリラックスして

いて、今まで考えたことのないこと、例えば、病気を受け入れることなどを考えることができるかもしれないと思いました。

○実際にハープと歌を聴いた時、心が安らぎ、体の中に音楽しかないような感じになりました。また、わざと知らない曲を奏でているというのも印象的でした。患者さんが曲を聴き始めた途端に泣き始めるというのも興味深く、本当のケアをしているなど感じました。私も日々「いのち」のことを考え、生きていきたいと深く思いました。

○綺麗なハープの音色によって痛みが取れる患者さんがいらっしゃることに本当に驚きました。痛みを取ることが目的ではないのに、自然と音楽の力で体が楽になることがあるのは、やはり演奏している方の気持ちが患者さんに伝わっているからこそだと思います。患者さんの呼吸に合わせて曲を選ぶことで、その患者さんの状態に合った演奏ができるし、伝えたいこと、祈りがストレートに患者さんに響くと思うので、患者さんに合わせる事が大切だということを学びました。

### <お茶の水女子大学附属中学校の皆さんの感想>

○ハープと歌の実演がとても印象に残りました。話を聞いただけや調べるだけではわからない深さがありました。私には心を無にしてくれる響きに聞こえました。また音楽療法ではなく、パストラル・ハープであるということ、身をもって体感しました。もう一つ印象に残ったのは、この世と永遠の世を交わらせるとい



## ディズニーランドを楽しむ難民の子女

都内2カ所でJELAが無償で提供している難民申請者用住居ジェラハウスは、二つ合わせて毎年30名以上の方々が利用します。小さなお子さんのいるご家庭の場合、希望があれば東京ディズニーランド(TDL)にご招待し、楽しんでいただいています。去年は久しぶりにミャンマー出身の4人家族から要望があり、ご家族全員分の遊覧費・往復交通費・食費・お土産費を支援しました。以下は、お母さんからの感謝の言葉です。ご両親の氏名や顔写真は、難民申請者であるため掲載していません。

10月上旬にTDLのチケットをいただいて以来、行くのをとても楽しみにしていましたが、子ども達が交互に風邪を引いたり、行く予定の日に雨

が降ったりと、なかなか実現しませんでした。そして、11月2日(水)、小春日和のこの日、ついに家族でTDLに行くことができました。ミッキーやミニーと握手をしたり、メリーゴーランド、空飛ぶダンゴ、二階建てバスなどに乗ったり、ディズニーの仲間達による子ども達のためのショータイムに参加したりと、子ども達も大はしゃぎです。おしゃれが大好きな長女は、真っ白いドレスのシンデレラのダンスにうっとり。夜には夢のように美しいエレクトリカルパレードを楽しみました。ランチは大好物のラーメンなどを頂き、お土産も買って、素敵な一日が終わりました。JELAの皆さまのお心遣いに家族一同心から感謝しています。ありがとうございました。

### <秋草学園福祉教育専門学校の皆さんの感想>

□どんなに意識のない利用者でも、ハープや歌を使ったリラ・プレカリアは伝わっているのではないかと思います。自分自身も利用者の気持ちになってハープと歌による演奏を聴いたが、心が和らいだ。今後は終末期ケアについてもっと理解を深めていき、自分が施設等で働いたときに、看取り介護を必要とする方に何ができるのかを考えられるような介護士になりたいと思った。

□自分の身の回りの人にも広めて体験してほしいと感じたプログラムでした。利用者のことを一番考えた選曲にも驚きました。曲に思い入れがあることを考え、知らない曲を選び奏でることによってリラックスしていただくという気遣いが大切だと学びました。

□実際に終末期となった人に対してどれ程の効果があるのかは、本当のところは分かりませんが、少なくともそのご家族と一緒に聴くことが出来れば、それは価値のあるものにちがいないのではと思いました。また終末期の利用者本人の場合は、一般的に言われる「死の受容段階」のどの段階で聴くと良いのかも考えさせられるところでした。またどうしても現代社会、とくに日本では、宗教=寄付金というようなあまり良くないイメージがあり、なかなか一般の人々に理解されにくいところもありますが、このような活動をされている方々が、もっと広く一般に理解されるようになることも、今後福祉社会が充実していくことに繋がっていくことの一つになるように思いました。

□自分はクリスチャンではないが、心が休まるのが分かった。ハープの音色だけ



\*正面でポーズする姉弟。右後ろの人は二人の家族ではありません。

でなく、歌声が乗ることでより深みのある音楽になっていた。実際の患者さんに演奏する時には、患者さんの呼吸に合わせてと知った。ただ音楽を押し付けるのではなく、患者さんの呼吸に合わせて演奏することで、受け入れやすいのかもしれない。

い。音色からは思いやりが感じられた。看護師も演奏はできなくても、終末期の利用者さんに対して思いやりを持った言葉かけをすることで、利用者さんの旅立ちを良いものにできるのではと考えた。



## 第9回「世界の子ども支援チャリティコンサート」のお知らせ

●目的:東日本大震災被災者復興支援・被災地の子どものために

●主催:日本福音ルーテル社団(JELA)/日本福音ルーテル教会・世界宣教委員会

●協賛団体(順不同一部交渉中):シュローダー証券投信投資顧問株式会社/野村證券株式会社/三井不動産販売株式会社/株式会社ハリファックスアソシエイツ/株式会社西村建築設計事務所/小林商事株式会社/伊達工業所/泰成印刷株式会社/株式会社大手技研/本郷学生センター

●日程・会場・開演時刻(開場はその30分前。入場無料ですが、席上献金を募ります)

5月11日(金)午前10時半※ ルーテル蒲田教会・幼稚園  
5月13日(日)午後1時半 ルーテル保谷教会  
5月19日(土)午後2時 ルーテル神戸教会  
5月20日(日)午後7時 ルーテル藤が丘教会  
5月22日(火)午前11時※/午後7時 ルーテル本郷教会  
5月26日(土)午後2時 知多教会・半田礼拝所  
5月27日(日)午後2時 ルーテル沼津教会  
5月29日(火)午前10時半※ ルーテル大岡山教会・幼稚園  
6月1日(金)午後6時 ルーテルシオン教会・徳山礼拝所  
6月3日(日)午後2時 ルーテル松本教会  
6月11日(月)午後7時 ルーテル市ヶ谷センター  
※は子ども向けプログラム

●演奏者

<上野由恵(フルート)>

東京芸術大学大学院修士課程修了。2004年、第2回東京音楽コンクール第1位。同年第15回日本木管コンクール第1位、コスモス賞(聴衆賞)、兵庫県知事賞、朝日新聞社賞受賞。2007年、第76回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)等受賞。2011年、オクタヴィア・レコードより「オペラ・ファンタジー」、「歌楽:イサン・ユンフルート作品集」を2枚同時リリースしてCDデビュー。2012年4月より洗足学園音楽大学非常勤講師。



●演奏予定曲目

ピアノソ: タンゴの歴史/イペール;間奏曲/アルベニス;タンゴ/マンシーニ;ひまわり/ボルヌ;カルメン幻想曲 ほか

<新井伴典(ギター)>

ジュニアギターコンクール・学生ギターコンクール・第6回スペインギター音楽コンクールで優勝し、1992年ドイツ国立ケルン音楽大学入学。1998年卒業までにオーストリア国際RUST2000ギターコンクール優勝をはじめヨーロッパ各地の主なコンクールで入賞を重ね、2000年ドイツ国家演奏家資格コース終了。その後ドイツ、オーストリア、チェコ、ベルギーにてリサイタル。飯森範親の指揮でギターの2大協奏曲「アラフエス協奏曲」と「ある貴神のための幻想曲」を演奏し絶賛される。ソロCDは「アプリール」「スペインの城」があり、どちらも『レコード芸術』特選盤に選出。現代ギター学院、上野学園大学講師。



編集後記

笑いやユーモアに興味があり、その種の本を読んだり演芸を楽しむことが多い。数年前からは、CDで落語を聴きながら就寝する毎日であった。その習慣が、ある日を境にピタリと止んだ。2011年3月11日東日本大震災である。以来、何か月も落語を聞く気になれなかった。震災は、直接の被害を受けなかった私の心にも、大きな衝撃を与えたのである。JELAが支援することになった高校生の一人、尚綱学院高等学校(在・仙台)の佐藤智恵さんは、支援が決まった時に「生きていてよかったと震災後初めて思えました」と書いている。元日本宣教師などを中心に米国や日本から寄せられた支援金が、家族の将来に勇気と希望を与えたともいう。支援する者・される者の間に立ち、愛を伝える道具としてJELAを用いてくださった神様に限りない感謝をおぼえるのである。(M)

## 支援者一覧

(2011年10月1日~2012年2月29日)

秋草学園福祉教育専門学校/穂田信子/浅見正一/アメリカ福音ルーテル教会/安藤淑子/飯島早苗/石崎勝/石澤とし子/石田浩子/石原京子/石原登志子/石森京子/伊藤和雄/伊東節子/ウエスト東京ユニオンチャーチ/梅田満枝/浦和ルーテル学院/日本福音ルーテル大分教会/日本福音ルーテル大岡山教会学校/大垣ルーテル教会女性会/大谷階子/大塚眞佐子/大中真理/加藤裕子/宗教法人カトリック東京大司教区/神奈川県立保健福祉大学/金田貴子/蒲田ルーテル教会女性会/上窪松子/カンバーランド長老キリスト教会 国立のぞみ教会/九州学院生徒・職員一同/京谷信代/日本福音ルーテル帯広教会 釧路礼拝堂/窪田都子/倉重ミドリ/呉ゆり/日本福音ルーテル小石川教会/日本福音ルーテル甲府教会/小菅可代/小松かつみ/小宮俊作/才木種親/國子/西条ルーテル幼稚園/桜井永之/佐々木博國/佐々木宣恒・和子/佐藤義雄/佐野友美/島

宗正見/日本福音ルーテル下関教会シャローム会/白井幸子/杉浦りえ/杉森耀子/鈴木辰典/鈴木やす/社会福祉法人清泉保育園/高田紀子/高津和子/高安洋子/竹下公生・香代子/立山久美子/田中美紗子/谷口恭教/日本福音ルーテル玉名教会/玉名ルーテル幼稚園/キリスト同信会茅ヶ崎集會/中部学院大学/日本福音ルーテル田園調布教会学校/田園調布ルーテル幼稚園/東京・生と死を考える会/鳥飼勝隆/中川浩之/中村朝美/西恵三・千恵/西垣親子/西平薫/野田マサ子/芳賀明子/芳賀美江/早瀬康平/針田真由子/東牧子/東山義夫/廣幸朝子/深川育子/藤本紀子/古川博子/古川文江/日本福音ルーテル保谷教会/本郷学生センター/前川隆一/益永和代/南節子/宮田満須子/宮本裕美/宗方美代子/初山昭恵/森保宏/若原奇美子/渡辺聡/渡辺純子/山内恵美/山県順子/山崎恵美子/山本一男/吉田員子/吉田啓昌/ルーテル学院大学 以上、敬称略。

ご支援ありがとうございます。

匿名をご希望の場合は、ご送金の際にお知らせ下さい。